

二宮町議会議員（無所属）



つゆき佳代通信

2020年12月20日発行 No. 015

露木佳代 ☎ 090-6175-9707

メルマガ、ブログ、Facebook、Twitterで情報発信中

1976年 秦野市生まれ 法政大学法学部政治学科卒業
システムエンジニアを経てルポライターへ

2004年 「ビッグイシューと陽気なホームレスの復活戦」上梓

2008年 「ママ&キッズに優しい町、二宮を目指す会」発足
子育て支援紙「Vent」発行

2014年 二宮町議会議員選挙 初当選（現在二期目）

HP
ブログ
Email

つゆき佳代 検索
tsuyuki_kayo@yahoo.co.jp



メルマガ送って、と一言メールをください！

↑友だち追加

WSでは、参加者が、子ども、大人の交流の場など、市民のためのオープンスペース

「それを見据えて先手を打つ」ことをしなければならぬ。

「30年後は現在の6割以上の居住地域の人口が半減し社会が変わる。国は2025年までに全自治体のシステムを統合、スマホ等で行政手続きがほぼ可能になり、庁舎の役割は限定的になる」という。この大きな変化に私たちは「ついていけないのか」ではなく「それを見据えて先手を打つ」ことをしなければならぬ。

未来の庁舎・未来の町

町は庁舎の建設地をラディアン周辺とし、9月から町民ワークショップ（以下WS）を開催。専門家による講義、現地視察、意見発表がなされ、4回目にシンポジウムを開催しWSは終了。1月中旬に基本計画案の策定予定だったが…。



庁舎の方向性が変わった？ 新庁舎建設計画は 総合的なまちづくり計画へ!?



コロナ禍とはいえ、未来を担う子どもたちの学習スペースがこれでは…。(ラディアン廊下)

スや町民同士の繋がりを促す場を求めていることが分かった。庁舎に限らず二宮のまちづくりは、社会情勢の変化と地域資源の調和が未来への鍵となるだろう。

今後に向けて、山積する課題

町は、WS参加者の声から『庁舎計画はラディアンや駅周辺も含めた総合的なまちづくりだった』と気付きを得たようである。ラディアンのあるり方・購入したホテル跡地の活用・果樹公園購入の可能性・学校の大規模調査後の修繕・少人数学級の国の動きによる学校再配置の町の方針・町民センターのあり方・駅前町民会館跡地の活用など、課題は山ほどあるが、現時点で町から具体的な話は出ておらず、基本計画案の策定予定も大幅にずれると考えられる。しかし強引に進め、これ以上「町民や職員の時間と労力を奪う」ことはしてほしくない。問題を庁舎のみに閉じず、熟考を重ねること、そして『次世代に繋げていく公共空間のあり方やデザイン』が見えてくる展開を求めたい。

ホテル跡地、庁舎建設に 関連1億1500万円で購入



用途を定めず、9月議会で1億1500万円の購入費を可決。露木含め反対3名。議会の責任も大きい。現在、解体作業中。

9月議会では、計画案は職員が作ると答弁していた。今後、町民との関わりはどう形成するのか、町が考える未来への投資内容と額はどのようなのかも示す必要がある。

町民の未来はみんなで作ろう

私や「大切な暮らしのためまちづくりを考える会」では、庁舎を新築する必要はないこと、学校施設も含め町全体で考えること、庁舎以外の施設の修繕をすることなどを1年半以上前から主張し、会では署名や陳情もしてきた。

私はこれまで「空き校舎を使った庁舎と町民コミュニティの融合＆学区区ごとの相談窓口設置」をイメージしてきたが、少人数学級の国の動きも出てくる中で再構築の必要性も感じている。

子どもたちや若い世代、高齢者に、どうしたら優しい町になれるのか、改めて皆さんと考えていきたい。

つゆき佳代Youtubeチャンネル開設 町に関する動画をアップしています チャンネル登録 お願いします!

- 情報保障のため、少し前の動画から字幕を付けています（お手伝いして下さる方、募集中です）
- ライブ配信も検討中！コロナ禍なのでZoomやYouTubeを活用して、どんどん意見交換しましょう！お電話でもぜひ！



廃



町バスはH19に441万円で購入、ディーゼルエンジン、走行距離7~8万km、年間維持費約200万円(人件費込み)。社協バスは町バスと購入時期、走行距離がほぼ同じ。年間維持費は約80万円(人件費込み)。

障がい者の送迎や、地区社協の視察、通りの場の遠足等で活用されていた社協バス(定員 29名)の廃止が決まった。

そんな中、同型の町バスも廃止予定という。大型スキーバスの事故を事例に「危険性をぬぐえない」と言うが、町バスは小型で長距離でもない。今まで運転士の研修すらせず安全性を理由にされても…。

廃止後、町事業は民間のマイクロバスを借りる予定(1回5万円以上)らしいが、例えば障がい者と小学生の交流事業などの「町民活動」に用意される可能性は低く、足がなくて団体が活動をやめてしまえば残念極まりない。ちなみに社協は、どの事業にもマイクロバスは用意しないという。となればますます町バス廃止は阻止したい。

バス廃止が関係する事業は多いが、各担当に問題意識がなければ、事の重大さが見えず対策は取れない。各課横断的な議論もなく12月議会時点で町民への周知もない。

廃止までのプロセスがあまりにも杜撰で、影響についての町長の意識も低い。町のコミュニティが崩壊するような大変な話である。

あまりにもひどい!
町バス廃止までのプロセス

希望者にしか実施しなくなった色覚検査のはなし

え! どうして見えないの? そんな言葉がいじめに繋がるとして、17年前からほとんど実施されなくなった色覚検査。町では小4の希望者に実施しているが、案内は学校配布の保健だより程度。色覚異常は男性の20人に1人、女性の500人に1人といわれる。「息子の友だちみんな焼肉をしたら、一人の子が生肉を食べちゃうのよ」と驚いた私の友人。

親御さんに伝えて検査をしたら異常が見つかったとのこと。たまたま見つかる子もいるが、検査しないとなかなか気づきづらく、子どもの頃から夢見てきた就職試験で初めて自分の異常を知った、というのはよく聞く話。

警察や自衛官、交通運輸関係、パイロット、医療関係、アパレル系、webや商品のデザイナー、ゲームクリエイター、パティシエ、美術を教える講師など、色を見分けられることが求められる職業は、実は想像以上に多岐にわたる。

過去の教育委員定例会では「図書館などにポスターを貼るなど、保護者が検査の存在を知り、受けるきっかけになることが何かしらできないか」というような発言もあった。検査は専門家でもでき、予算もかからない。プライバシーに配慮し、町で児童全員に実施してほしい。

色覚検査には種類がある。右絵は世界的に広く使われている「石原表」と呼ばれるもの。



色



上)正常色覚の見え方
下)異常のある場合の見え方
(実際とは異なることもあります)

美味しい居場所



わくわく広場のある百合が丘商店街。若い世代の方々が集まるICHIさんは、毎日違うパティシエのスイーツが超お手頃価格で楽しめるお店。運営形態はシェアキッチン。「お店をいきなり持つのはハードルが高いけれど

キッチンシェアできれば、皆さんがチャレンジできるかなと思って」とオーナーの宮坂さん。

誰でも気兼ねなく楽しめる心地よい店内には子育て世代が町外からも! 作家さんの雑貨販売やワークショップの日はどこからともなくたくさんのオシャレさんが来店。可愛くて美味しくてお得なお店、知らないのはもったいない!



ドリンク付600円~
でいただけるプレート
が大人気!

湘南お菓子部ICHI SHARE BASE
営業:月~土、10時~15時(詳細はInstagramで)



楽しい居場所



この家と看板、見たことある! という方も多いのでは? 富士見が丘から大磯に向かう道沿い(2丁目)にある囲碁ハウスは、元旦以外の364日、14時から19時ぐらいまで自由

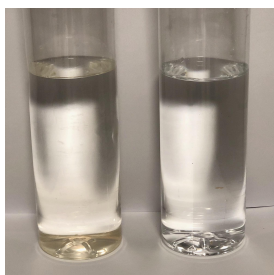
に囲碁を楽しめる心地の良い居場所。今はシルバー世代の方が多いですが「囲碁を覚えたら成績も上がるよ!」と子どもたちも歓迎してくださるそう。大人の初心者の方もぜひ!



会費:月4,000円(小中高は無料) ☎080-6567-4661(石橋)

進まない現庁舎の老朽化対策

庁舎の建設問題とは別に「現庁舎の老朽化」を放置すべきでない。蛇口からは錆水が出るので、町民と職員用のウォーターサーバーを設置してはどうかと議会で提案したが(試算では年間170万円程度)、水どころか、エアコンが効かないこと、トイレの流れが非常に悪いこと、雨漏りが激しいこと等を町長自身が怒りながら答弁。これならと対策を期待したが「(財源の使い道の)優先順位は別だ」と一掃。自ら老朽化を力説しておいて、水の対策費用すら出さないとばかり。順調に新庁舎計画が進んでも完成には5年はかかる。目的のない土地購入に1億円も出せるのであれば、来庁する町民のためにも、劣悪な環境で働いている職員のためにも、ウォーターサーバーや冷風機等、できることをすべてやること。水も飲みたくない役場なんて誰が望むのか。これでは若い職員の離職が止まらないのも当然。



左)休み明けの庁舎の水。水質に問題がなくても…。

策